

第2回協議会意見の整理

基本目標1 しごとの創生(1)既存の魅力ある産業を育て、就業の機会を創出します。

意見	対応	考え方、論点
数値目標の指標である市内従業者数では、農業や水産業(加工部門を除く)に携わる人口を捕捉できない。何か必要ではないか。	●現状のまま →工業統計調査における従業者数については、農業、水産業の加工業に携わる人も含まれており、1次産業の振興に伴う従事者の増も反映しているため。 また、農業や水産業における毎年行われる調査については、しごとの創生による就業機会の創出を表す数値を正確に捕捉できるとは言えない。	農業、水産業に携わる人(加工部門以外)の捕捉については、5年に1回のセンサス調査がある。 本調査は、総合戦略の時期と同一ではないため数値目標としては設定しないが、協議会でその結果について報告するとともに総合戦略の効果検証のための検証材料とする。
	●労働力支援体制については、農業のみに限定しない。 →「労働力支援による生産体制の維持拡大」に修正 ●外国人労働者～のKPIについては残す。	日本、松浦市の人口が減少していく中で、産業振興を支える担い手の確保については、外国人の雇用は重要な視点であり特出しするべきではないか。
外国人労働者の活用がKPIとして適当か。農業のみでよいか。	●労働力支援体制については、農業のみに限定しない。 →「労働力支援による生産体制の維持拡大」に修正 ●外国人労働者～のKPIについては削除。	人手不足の解消についての外国人雇用については、取り組んで行くべき課題であることは認識するが、確保すべき人材は国の内外を問わない。むしろ国内人材の確保が重要な産業もあるはず。 外国人の雇用を特出ししてKPIとする必要はないのではないか。